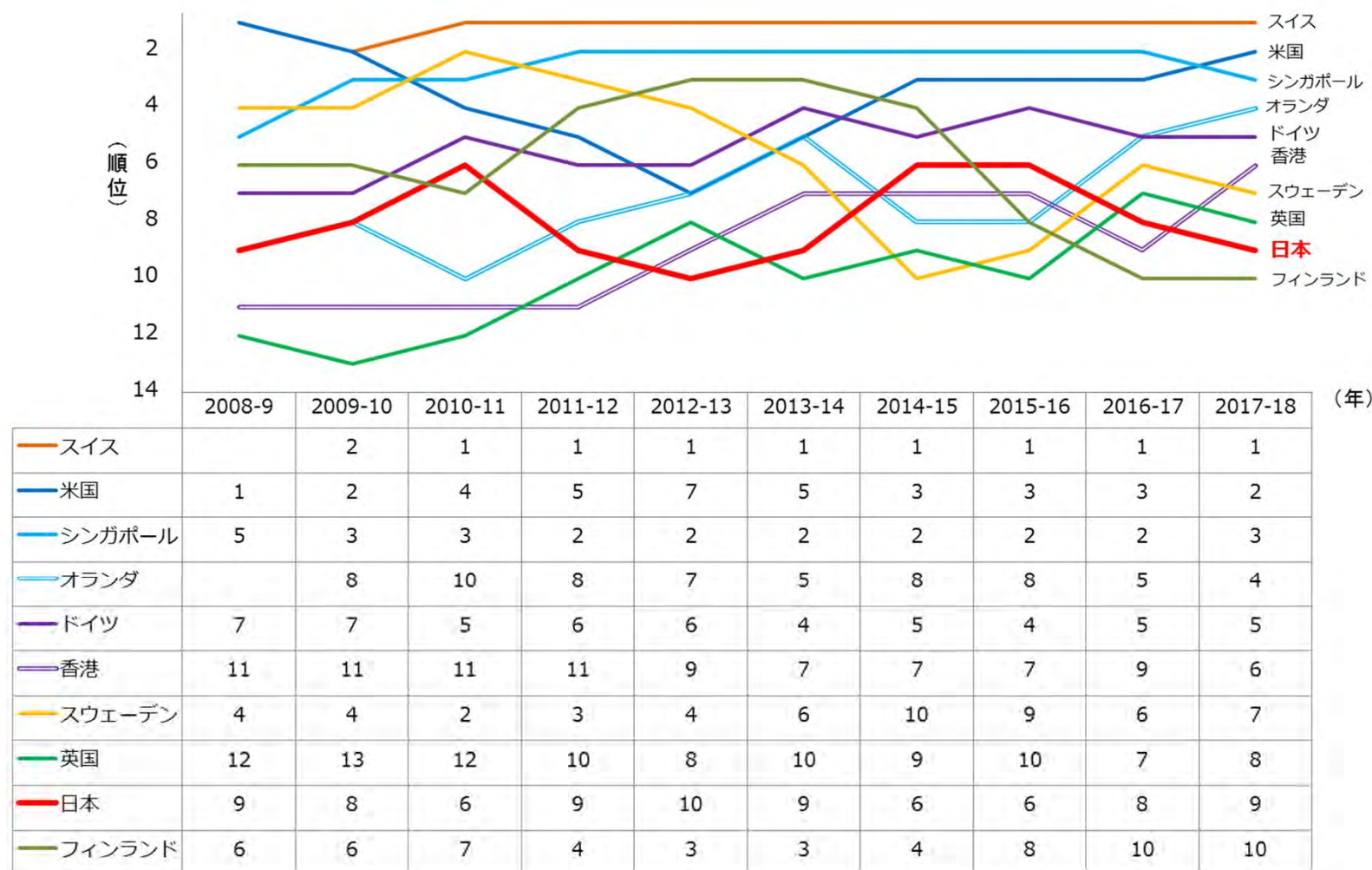


4.1.1 WEF国際競争力ランキング（総合）の推移

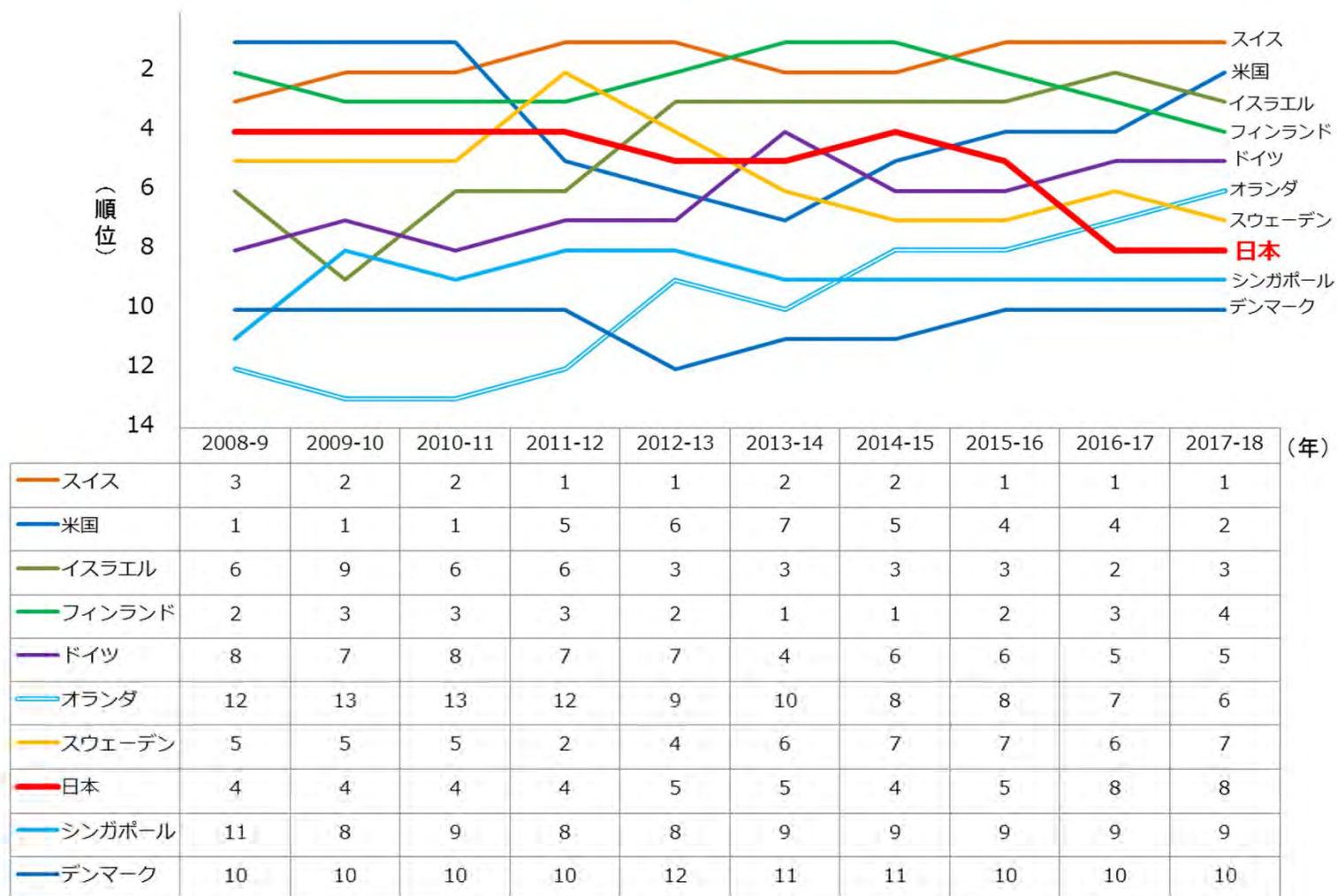
- 分野総合の最新ランキングでは、日本は第8位から第9位に再び低下。
- スイス、シンガポール及び米国の上位3か国の顔ぶれに変動はなく、上位10か国の顔ぶれも前回から変化していないが、4位以下では入れ替わりが見られ、特に香港の上昇が著しい（第9位→第6位）。



(出典) 世界経済フォーラム (WEF) The Global Competitiveness Reports 2017-2018 (2017年9月26日) を基に経済産業省作成。
 (注) 上位10か国を表示。

4.1.2 WEF国際競争力ランキング「イノベーション」の推移

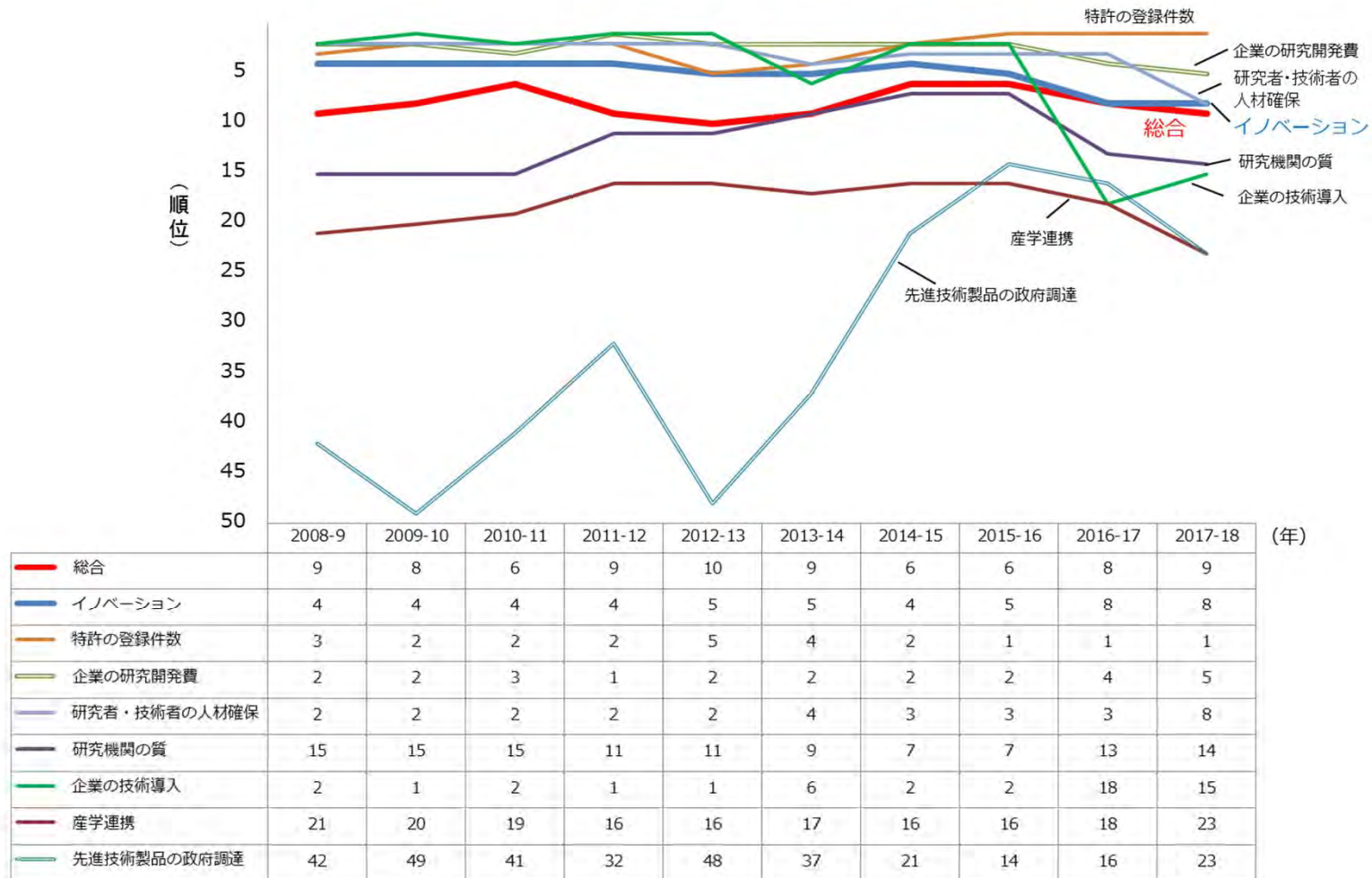
- イノベーション分野では、スイスが3年連続で第1位となる一方、日本は前年同様の第8位。
- 近年、日本やフィンランド、スウェーデンが順位を下げ一方、米国及びオランダは、近年順位が上昇又は回復傾向。



(出典) 世界経済フォーラム (WEF) The Global Competitiveness Reports 2017-2018 (2017年9月26日) を基に経済産業省作成。
 (注) 上位10か国を表示。

4.1.3 WEF 国際競争力ランキングの推移：日本

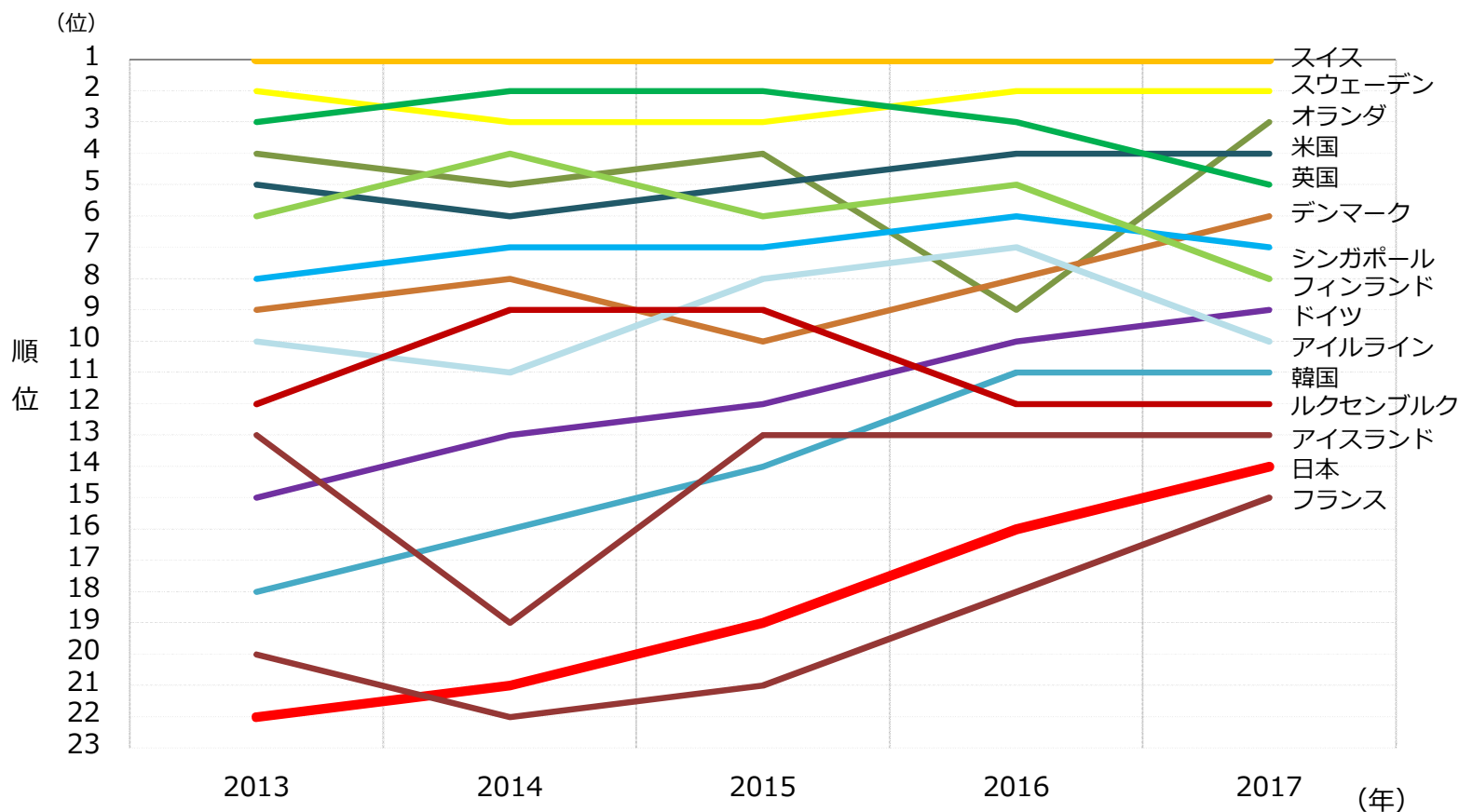
- 日本の国際競争力ランキングの推移をイノベーション関連の分野別にみると、特許の登録件数が3年連続第1位となった一方、ほとんどの分野で順位が低下。
- 特に、先進技術製品の政府調達、産学連携、研究者・技術者の人材確保、企業の研究費といった分野で大きく低下、さらに研究機関の質でも引き続き低下。



(出典) 世界経済フォーラム (WEF) The Global Competitiveness Reports 2017-2018 (2017年9月26日) を基に経済産業省作成。

4.2.1 グローバルイノベーションインデックスランキングの推移

- 2017年は、スイス、スウェーデン及びオランダの順であるが、オランダが2016年から順位を大きく上げている（第9位→第3位）。
- 日本は、2017年に第14位まで順位を上げている。



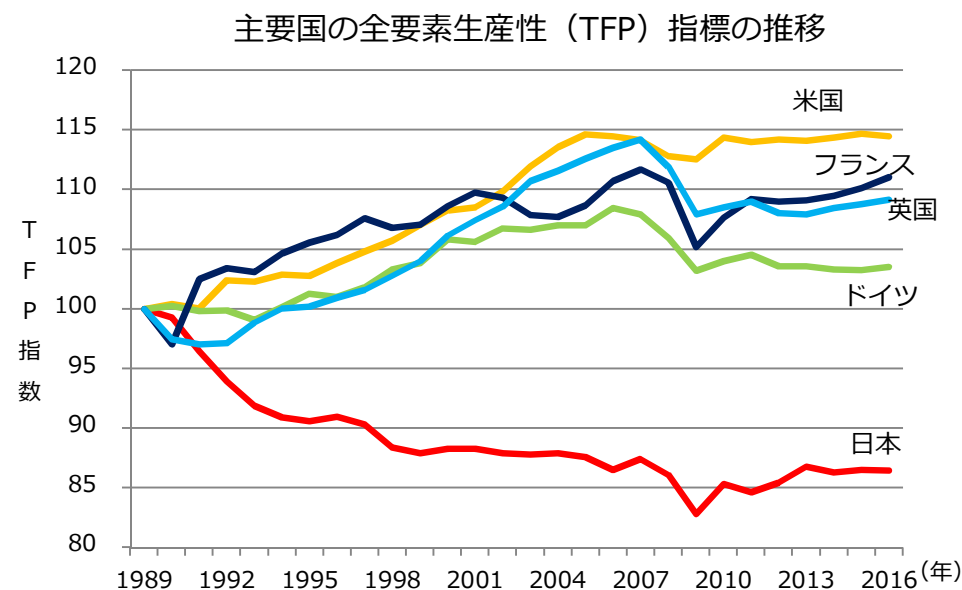
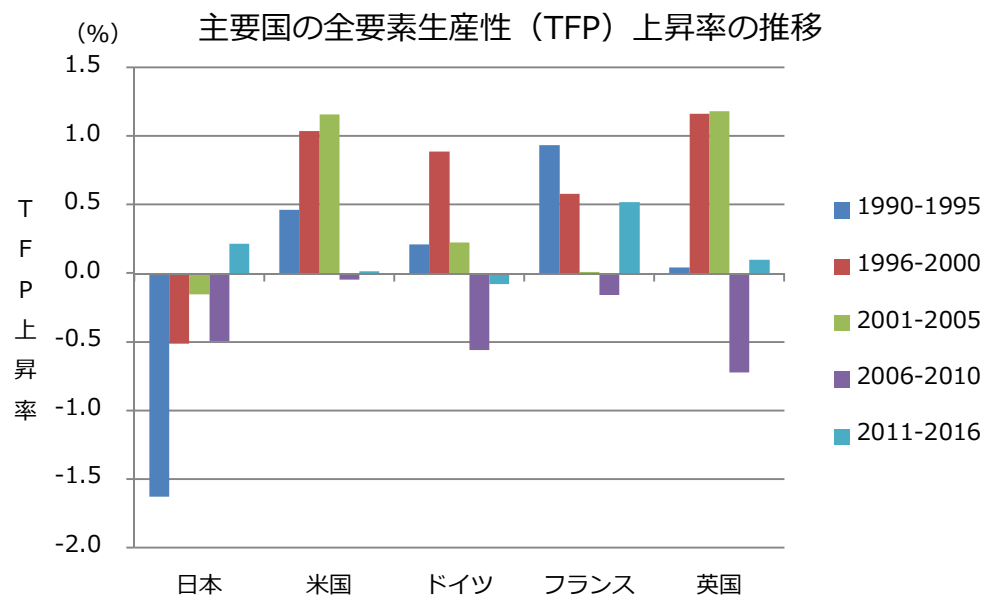
(出典) INSEAD、WIPO及びコーネル大学 The Global Innovation Index 2017を基に経済産業省作成

(注1) 2017年の上位15か国を表示。

(注2) INSEAD：フランス等にキャンパスを持つ私立のビジネススクール・経営大学院

4.3.1 全要素生産性の国際比較

- 経済成長に対する技術進歩の寄与を示す指標として用いられる全要素生産性（TFP）上昇率をみると、日本のTFP上昇率は、90年代以降マイナスで推移したが、2011-16年はプラスに転じている。
- 米国及び英国のTFP上昇率は、90年代後半から2000年代前半に高かった。
- TFP指数の推移をみると、各国とも2007-09年はリーマンショックの影響で大きく落ち込んだが、米国は下落幅が比較的小さい。



(出典) The Conference Board Total Economy Database™, May 2017, Growth Accounting and Total Factor Productivity, 1990-2016 (Original version) を基に経済産業省作成。

(注1) 表現方法については、文部科学省科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2014」調査資料-229（2014年8月）を参考にしている。

(注2) 主要国のTFP上昇率の推移については、各年の平均値。

(注3) 主要国のTFP指標の推移については、1989年を基準年として、その年の基準値を100とした。